

令和4年度第3回釧路市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時	令和5年3月20日(月) 14:00~14:50
場所	釧路市観光国際交流センター
出席委員	27名(うち代理出席3名) 欠席6名
事務局	5名
オブザーバー	2名 欠席1名

1 開会

2 議事

【協議事項】

(1) 令和5年度事業計画(案)について、(2) 令和5年度収支予算(案)について

資料1、資料2

・事務局より説明

～質疑あり～

(吉田委員)

- ・ 来年度の利用促進の取り組みについて事務局からお話をいただいたときに、利用促進の取り組みも非常に大事なのですが、まずは地盤を固めるという意味でもバスを利用する環境の改善が必要だというお話をさせていただきました。
- ・ 鳥取分岐は、多くの路線バスの他、都市間バスも通ります。夜中にマイナス10℃以下の気温の中で、スーツケースを持って待っている人をずっと見ていたこともあり、待合施設設置のお話をさせていただきました。協議会の方から補助金をいただいて、ぜひ商店会主体でやらせていただければと思います。バス利用環境の改善とともに、商店会の活性化にもつながればと期待しているところです。

(秋里会長)

- ・ 鳥取分岐は、広域の都市間交通、空港連絡バスも停まっているところですので、環境改善が利用増に結び付けばという提案でございました。

(佐藤委員)

- ・ 利用促進策の実施は、協議会の中で議論しながら進めていく上で、協議会で作られたものがどのように利用されているのかということが、大事だと思っています。バスの会を立ち上げて13年になりますが、当初は子ども向けの内容もやってきました。『バスの日』が9月20日で、そのときのバス会社さんの取り組みで、小学生のバス代が無料という時期が10日前後ありましたので、市内各保育園、幼稚園でぜひそういった制度を活用してもらいたく、書面で連絡して、大分取られるようになりました。

- ・ 同時に、阿寒バスさんの協力を得て、2011、2012年くらいに、500円で動物園に行けるイベントを行い、親子を中心に募集して20人くらいで参加されました。あるいは、9月20日が『空の日』でもあるので、飛行場の見学も取り組まさせていただきました。20人ほどの参加でした。いずれにしても、バス会社さんのご協力があったことで、中々単独で市民のボランティア団体ができることではないと思っています。
- ・ 特に今回思ったのが、釧路町の別保公園に停留所ができたときに、バスで別保公園に行った方に何か記念になるものを渡せればと思っていたのですが、やはり裏付けになるものができなく、利用者も中々いなくて、結果、バス停も変更の方向に向かってしまったということもありますので、ぜひ大きなイベントに併せて、裏付けをもった取り組みをしてみてもどうかと思っています。
- ・ その他、地域の様々なイベントがありますので、それに寄せて参加する方に記念になるものを出してはどうでしょうか。そういったことを企画として作り上げてはどうかと思います。
- ・ 去年一年間も、7月に緑ヶ岡のパークゴルフ場にバス時刻表を提示して集まって合流しようとか、8月に米町の方の公園の散策をしようとか、9月には『バスの日』もありますから、赤いベレー。これもまたバス時刻を提示して取り組んできましたし、10月には音別の体験交流におでパスで行ってみようじゃないかということで取り組んできました。
- ・ こういう取り組みを作り上げていく必要があると思うのですが、いずれにしても単発では終わってしまうと思います。色々な角度から、色々なポジションから、このような取り組みがされていくべきではないかと思っていますので、今回、具体的に子供たち向けの取り組みとしても新しく入っていますので、ぜひ拡げていってもらえればと思います。

(秋里会長)

- ・ これまでの様々な取り組みをご紹介いただきながら、新年度の取り組みについての期待もお話いただけたのかなと思います。
- ・ きっかけとしてイベントは大事だと思いますが、継続的に利用策が広がっていくというのもまた大事なことだろうと思います。

(岸副会長)

- ・ 吉田さんとずっと何年もこういうことをやりたいという話をされていて、ようやくこうやって実現することができたのが良かったと思います。
- ・ このようにバス会社さん任せでもなく、行政任せでもなく、地域の皆さんと協働してやっていくというところのスタートかなと思いますので、まずはここが上手いければいいなと思います。関連する皆さんが、積極的にここの運営に関わっていければいいと思うのと同時に、これが成功事例となれば、色々なところで広がっていくの

かなと思いますので、ここは大事にやっていただければと思います。

(3) 音別線（コミュニティバス）における乗降場所追加及びルート変更について

資料3

・事務局より説明

～質疑あり～

(秋里会長)

・ コミュニティバスの変更についての背景を、冷川委員よりご説明いただけますか。

(冷川委員)

・ 今回の変更については、利用者からのアンケート、あるいは地域の皆さんの声、地域協議会からご意見をいただいた上で、より効果的な運行ができるかというのを念頭に置き、変更したところです。

・ また、行政だけの進め方だけではなく、この交通機関というのは地域にとっては重要なものですから、地域の意見を重視した上で、地域が一体となってしっかりとできるように、毎年協議検討しているところでもありますので、今回についてもこのような要望がたくさんあったところで、変更するに至ったものであります。

(秋里会長)

・ 音別地区の方でも必要不可欠な路線ということで、地域の声を聞き、また、おんぼーと開館にも併せながら、良い方向に変更していくということだと思います。

(岸副会長)

・ 便利になるという受け止め方をしているのですが、どれだけ便利になって利用が増えたかというのは、今後データ取りをし、色々分析してほしいなと思います。

(秋里会長)

・ 路線を変えた後の検証ということですよ。変更した後、結果が思ったとおりに出ればそれでいいですし、それがそうでない場合も残念ながら無いとは言い切れないところもありますので、検証していきながらと思います。

(事務局)

・ 今回、乗降場所追加の利便性向上による利用者数の変化につきましては、運行委託先の音別ハイヤー様と連携しながら動向を注視していくとともに、利用促進にも努めていきたいと考えております。

(4) 乗合タクシー桂恋三津浦線の予約方法の変更について

資料3

・事務局より説明

～質疑あり～

(岸副会長)

・ これもサービスレベルの向上だと思いますので、どれだけ当日予約ができずに利用

を諦めていた人が当日予約をするようになるのかですとか、あるいは前日の予約だったことで自分の行動が決まってしまうところが、どれだけ柔軟に変更できるようになったかというところは、何らかの形で追ってほしいなと思います。

- ・ ちなみに今の時点で予約の時間は記録されているものなのでしょうか。

(事務局)

- ・ 予約自体は、運行主体であるまりも交通様で受けていますので、詳細にはこの場ではお答えできませんけれども、おそらく前日のどれくらいに予約が入っているかというのはお伺いできると思いますので、確認していきたいと思います。
- ・ 今後の利用者の伸びですとか、どういうことが良かったかですとか、毎年アンケートを取っておりますので、その辺の情報も伺いながら進めてまいりたいと思います。

(岸副会長)

- ・ ぜひお願いしたいのは、何時何分に予約がはいったかというのを記録しておいていただきたいです。そんなに負担ではないと思いますので。結果、当日なのか前日なのかというところは、実際にやってみなければ当日予約が少ないのであれば、運行業者が負担に感じるのであれば、前日予約に戻すというのもあり得るなと思います。
- ・ サービスレベルの向上は大切ですが、それを地域住民の皆さんが使っただけかということまで検証できるようなデータ集めはしておいてほしいなと思います。

(秋里会長)

- ・ 当然利便性向上は望ましいことだと思いますが、ニーズがないところまでどうするのかということも検証が必要だと思います。結果もそうですし、地域の利用されている方々の声を丹念に拾っていただければと思います。

3 その他

(1) 釧路運輸支局 松田委員より発言

(松田委員)

- ・ 国土交通省では、令和4年度の補正予算において、今回初めてなのですが、バス会社・タクシー会社の人材確保支援ということで、事業を補助金という形で予定しております。
- ・ 内容としては、二種免許取得費用の負担、あとは人材確保セミナー、PR資料の作成等が主なものになっています。釧路・根室管内におきましては、バス会社としては、くしろバスさん、阿寒バスさん、根室交通さん。タクシー事業者さんから要望をいただいております。
- ・ ひとつのお願いとしましては、国で1/2補助になる予定で、残りがバス会社タクシー会社の負担ということになってきますので、聞くところによると旭川市さんがご支援いただけるということを聞いておりますので、もしよろしければ、釧路市さん、

今日オブザーバーとしていらっしゃっている釧路町さん、白糠町さんの方でも同じようにご検討いただけますと嬉しく思います。

- ・ これまでも色々ご支援いただいていると思いますが、人材確保というところについても合わせてお願いいたします。
- ・ ですが、実際になり手が居なければ地域に足というのは継続することができませんので、バス会社さんの方からは、今年の夏から秋にかけて、バスの運転手体験イベントも行うと聞いております。運輸支局も大きくかかわって、成功できるように思っていますが、ここにいらっしゃる色々な分野の皆さんからのご協力もいただきながらと思っていますので、準備期間中のご協力をいただければと思っています。

(2) 全体を通して質疑

～質疑あり～

(佐藤委員)

- ・ おでパスが出てから、フリー乗車券の販売が落ちているのではないかと思います。値段も 600 円から 900 円に上がったというところで。
- ・ 最近、釧路に来る転勤者の方々のアフターについて、さまざまな取り組みが新聞にも出ています。このフリー乗車券で、転勤者の家族の方々がバスを利用して釧路を知ってもらおう。このような取り組みを事業の中に協議会として作っていけないかという提案です。

(原委員代理)

- ・ 600 円から 900 円になり、一日で売れる枚数は下がってきていると思います。やはりおでパスの影響もあるでしょうし、特にコロナ禍で非常に大変な時期もありましたので、コロナが明けてどうなるかというところはまだ見据えていかなければいけないかなと思うところです。ただ、ビックリするほど減ってはいないものと思います。
- ・ WAON 支払いもほとんどの路線で可能となり、こちらが今非常に好調で、そちらの推移もみながら進めていきたいと思っています。

(事務局)

- ・ 今回新たに上げさせていただいた利用促進策として 4 つの内容は好事例になるものと考えておりますので、まずはこちらを積極的に進めていきたいと考えております。今、お話のありましたフリー乗車券の PR 自体もまだまだ少ないかなと思うところもありますので、まずは PR というところができないかを検討し、研究していきたいと思っています。その上でご発言のあったような取り組みが可能かどうかを研究してまいりたいと思います。

(秋里会長)

- ・ 転勤者のお話もありました。やはり中々新しい町に来ると、路線が中々分かりにくいか利用方法が分からないとか色々あると思いますので、こちらも検討していた

できればと思います。

(吉田委員)

- ・ ちょうどコロナも明けて、7月1日、7月2日に『多良福まつり』という約2万人が集まるお祭りをイオン釧路昭和店で大々的に行います。ぜひ、バスの利用促進として、実物のバスがあったり、先ほどの人材確保についても色々宣伝できたりする場であると思いますので、自由に使っていただければと思います。
- ・ 私はいつも「いくら払えばいいのか」という不安を抱えながらバスに乗るのですが、せっかくイオンでイベントをやるので、WAONを絡めていけば良いと思います。釧路であれば、WAONがあればタクシーの支払いもできますし、バスも乗れますので、ぜひ『多良福まつり』の際に来ていただいて、交通の利用促進ができればと思っていました。
- ・ 私たち商店会で、協議会に全面的にバックアップしたいなと思っています。バス会社さんの手が届かないところを我々商店会が責任を持って実証実験を行うことも可能ですので、ぜひ我々を使っていただければと思います。
- ・ 乗合タクシーや乗合バスも、別に郡部じゃなくても、例えばイオンのお祭りで少しお酒を飲んだ後に末広に行きたいというときに、自由に走っているバスがあると非常に便利だなと思います。そのときに乗合タクシーですとか、AIとかMa a Sとか、先進的なことをやっていくと若い人たちが「釧路市は良い町だな」と思ってくれると思うので、今後もますます連携していければなと思っています。

(秋里会長)

- ・ 様々な機関の方々が参加いただいているこの協議会の場で情報を提供し合うことで、一つのプラットフォームになり、より利用促進や利便性向上につながればと思ったところでございます。

4 閉会

(秋里会長)

- ・ 以上を持ちまして、「令和4年度第3回釧路市地域公共交通活性化協議会」を終了いたします。